

い な み ち ょ う さ い が い つ よ
印南町災害に強いまちづくりの推進 (ぼう さい あん ぜん
防災・安全)

【第 1 回変更】

わ か や ま け ん い な み ち ょ う
和歌山県印南町

令和 6年 3月

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和106年03月27日

計画の名称	印南町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）														
計画の期間	令和05年度 ～ 令和07年度（3年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	印南町														
計画の目標	印南町は紀伊半島の西部海岸の中央部に位置している。海岸部は北から南東約8kmにわたり広がっており、紀伊水道に面している。過去に起こった宝永地震では196名が犠牲となり、直近の昭和21年南海地震では死者17名、住宅の流出、全半壊及び床上床下浸水の被害にみまわれた。また、平成23年の台風12号が来襲した際には、豪雨による河川の氾濫、土砂崩れ等により甚大な被害を被った。 台風来襲時や大地震発生時における安全な避難施設等が不足しており、今回統合を予定している中学校及び学校敷地を避難場所兼避難施設として指定する予定であり、統合中学校へ至る経路を避難路として整備を図り、災害に強いまちづくりを推進するものである。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		767	A	767	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和5年度（当初）	令和6年度	令和7年度
1	印南地区の本郷区及び光川区を対象とし避難路整備を行い住民の円滑な避難を確保する。 避難経路を活用し避難する住民の人数。	0人	0人	160人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	－	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	印南町	直接	印南町	－	－	地区公共施設等整備（光 川地区）	避難路整備（L＝567m・W＝9. 5m）	印南町	■	■	■			767		策定済
											小計						767		
											合計						767		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	198, 557				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	198, 557				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	25, 000				
翌年度繰越額 (f)	173, 557				
うち未契約繰越額(g)	17, 625				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	8. 87				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 印南町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）

[illegible]

地区公共施設等整備

計画の名称	1 印南町災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）		
計画の期間	令和5年度～令和7年度（3年間）	交付対象	印南町



—— 避難路整備